
ちょっぴり人生が変わった日

翠寿きゆま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちよっぴり人生が変わった日

【Nコード】

N8854H

【作者名】

翠寿きゆま

【あらすじ】

目標に近づける為には、例えその道が廻り道に感じたとしても諦めずに継続し、そしてほんのちよっぴりでも進んいける事・・・。

(前書き)

わたしはこんなに頑張ってるのに、なんて思わなくっても良いんだっ。こんなに頑張ってるのにどうして結果が得られないの？なんて思わなくったっていいんだっ。こんなに頑張ってるのにどうして受けられないの？なんて思わなくたっていいんだっ。ただわたしがコレを続けたいんだから、続けるんだ！

だっていつしか成果が得られ、その状況が変わってしまったとしても、そうしている事によつて自分に甘んじることなく、ずっとずっと変わらず続けていられる気がするから……。自分自身の功績に自信を持つのは、とっても良い事。だからと言って自分自身が良いと思っっている事の全てが、必ずしも世間に受け入れられるばかりとは限らないっ。

一度や二度で理解されようなんて思うより、今自分に出来る努力は、小さな積み重ねを大切にして、維持してゆける事。それにちよっぴり気が付けた時、わたしの心はとっても楽になった。そして何かを継続する事に対しても、全く苦とは思わなくなった。それはきつと今わたしに出来る最大限の事なんだってわたし自身の中で、ちゃんとそう思えるからだっ……。

十数年ぶりに小説を書いてみようと思った。それはとある携帯小説サイトを見たのがきっかけだった。

たくさんの人々が思いのまま、自由奔放に綴った様々な小説に、わたしは一度に魅了され引き込まれてった。

それらにわたしは、出版物とは全く違った、型にハマらない生き物の様な魅力を感じていたのだ。

そこには・・・人々の生きざまや悩み、青少年の家庭への捉え方、心の動き、そう言うもの一つ一つ克明

に伝わってくる作品が、数しれずと掲載されていた。

しばらく読んでみると、以前にわたしも小説を書いていたのを思い出したのだ。

あれは遡る事、高校時代の話になる。その頃のわたしは推理小説が大好きで、学校図書や

公共の図書館で見付けては、片っぱしから本を読み漁っていたのだ。そんな折、わたしも小説を書いてみよう！

そう思ったのがきっかけで、ミステリーやブラックユーモアを、何気なく綴り始めたのが最初だった。

だと言ってそれらの小説を本にしようとか、コンテストに出してみようと言っ訳でもなく、

ただそれをクラスメイトに配っては楽しんでもらおうと、最初はほんのささやかなもののもりだった。

しかしそれもいつしか友達の間に着定してゆき、わたしの小説はちよつとした学級新聞の様な

存在になつてたのだ。

そんなわたしは、友達からの評判が上々なのを知ると、数々のトリックやミステリーを考えては、小説を

読んでくれた友達が、度肝を抜く顔を見て楽しんでた。

しかしそれ以来、わたしは小説を読む事はあっても、綴る事は無かった。

そんなわたしが、この度エッセイや小説を綴ってみようと思い始めたが、以前の様には上手くゆかず

何度も行き詰まり、書いている内容にも自信が持てず、もうこうやって掲載するのを辞めようかと思った

事が何度もあった。まだ小説を掲載し始めてほんの数か月だと言うのに、その間には沢山の自分との葛藤があったのだ。

そんな折り、元来楽天家のわたしは、

「まあゆつくりと書けば良いわつ。気分転換に温泉やカラオケ行こつと。」

そう思つて出掛けてばつとすつきり！でもそれも、ほんの一瞬で気持が堂々巡りしてしまう。

その繰り返しだった。小説を書く事だけに限らず、人生に頑張ろうつて思えたり思えなかつたり、

生きてる以上誰でも同じ、人々の日々つてそんな事の繰り返し。だと言つてわたし自身の生き方や、

今迄綴つた小説に全く自信が持てていない訳じゃなかった。

でもそんな堂々巡りなわたしの心を、ちよつぴり変えた言葉があるんです。

でっその言葉は……。

「必ずしも良いモノが、世間で受け入れられるとは限らないからね。」

それは時々、自信喪失しているわたしに、相棒が軽く投げかけた
コ・ト・バ・・・。

その言葉にちよっぴり背中を押された気がしたんだ。その言葉に心
のつつかえ棒が取れて、

ちよっぴり楽になれた気がしたんだ。それは生きてく上で、どんな
事に対しても同じ事が言える気がした。

だと言ってそれは目標を見失った訳じゃないつ。今迄以上に目標を
定める事が出来たのだ。

心の中にある目標地点を目指す為には、ほんの一瞬だけにその思い
を費やすのではなく、

何事もまずはほんのちよっぴりづつでも、続けてくと言う事・・・。
そんな気がした時、全く苦にならずどんな事にも目標に向かって、
続けてゆけると思った。

『それからのわたしは、わたし自身が頑張つて来た気がすると思う
全ての物事に対し、全然見返りなんて求めなくなつた・・・。』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8854h/>

ちょっぴり人生が変わった日

2010年10月22日00時26分発行